新潟大学　倫理審査委員会　オプトアウト書式

①研究課題名	入院患者におけるリハビリテーション医療の資源活用と有効性についての観察研究
②対象者及び対象期間、過去の研究課題名と研究責任者	
研究に参加している病院に入院し、2022 年 4 月 1 日～2027 年 3 月 31 日までに退院した 65 歳以上の患者さんを対象とします。	
③概要	
この研究は、県内の様々な機能や規模の異なる病院において、過去の診療録のデータから高齢患者さんへのリハビリがどのように実施され、その効果を示しているかを調査します。また、それらに心臓病などの疾患や加齢に伴う変化が及ぼしている影響などを詳細に解析します。 研究に際しては、個人を特定できない状態でデータを解析しますが、この研究についてのご質問や、ご自身の情報を使ってほしくない場合は、下記担当者へご連絡ください。 ご自身のデータ利用を拒否された場合にも、不利益は生じません。	
④申請番号	2025-0013
⑤研究の目的・意義	この研究によって、超高齢社会におけるリハビリの有効な活用モデルの提案や病院の機能分化の最適化、より効果的なリハビリ資源の活用に寄与し、健康寿命の具体的な延長、につながるものと考えます。
⑥研究期間	倫理審査委員会承認日から 2029 年 3 月 29 日まで
⑦情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）	診療録から抽出された医療情報は、個人を特定できない形で新潟大学に情報が提供され、身体機能に関連する医学的な特徴や、リハビリの効果を解析します。研究の成果は、学会や専門誌などの発表に使用される場合がありますが、個人が特定できるような情報が公表されることはありません。情報の使用停止の求めがあった患者さんの情報は使用しません。
⑧利用または提供する情報の項目	入院時の年齢、性別、基礎疾病情報や検査（血液検査、生理検査、画像検査など）、リハビリを含んだ治療に関する既存の診療記録のデータを利用します。
⑨利用する者の範囲	新潟大学　循環器内科　主任教授　　猪又孝元 新潟大学　循環器内科　特任准教授　小幡裕明 新潟大学　循環器内科　助教　　高山亜美 新潟大学　循環器内科　特任助教　　萱森裕美
⑩試料・情報の管理について責任を有する者	新潟大学　循環器内科　特任准教授　小幡裕明
⑪お問い合わせ先	本研究に対する同意の拒否や研究に関するご質問等ございましたら下記にご連絡をお願いします。 所属：新潟大学　循環器内科 氏名：小幡裕明 Tel：025-227-2185 E-mail：obata-h@med.niigata-u.ac.jp